

2018年5月26日、感染管理認定看護師および特定行為看護師の小野寺隆記が「第7回日本感染管理ネットワーク学会学術集会」で「特定行為研修終了後の活動と実際」について発表しました。

シンポジウム 2 看護師の特定行為研修制度～研修制度の今後を探る～

において『特定行為研修修了後の活動と実際』について発表してきました。

特定行為研修がスタートして3年が経過しました。感染管理分野では、様々な細菌、ウイルスの知識だけでなく、抗菌薬についても理解が必要です。実際に特定行為研修を修了して、医師を含めた他職種とどのように協働し活動しているか事例を挙げての報告と、看護のアセスメント能力、ケアの質向上のために特定看護師が担う役割と実際の活動内容について発表しました。

